



## 2020年7月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年6月16日

上場会社名 株式会社ベストワンドットコム  
コード番号 6577 URL <http://www.best1cruise-corp.info/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澤田秀太  
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 国門量祐

TEL 03-5312-6247

四半期報告書提出予定日 2020年6月16日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年7月期第3四半期の連結業績(2019年8月1日～2020年4月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年7月期第3四半期	1,103	27.5	25		24		29	
2019年7月期第3四半期	1,522	39.1	104	2.5	102	5.3	69	3.3

(注) 包括利益 2020年7月期第3四半期 39百万円 ( %) 2019年7月期第3四半期 68百万円 (2.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2020年7月期第3四半期	23.90	
2019年7月期第3四半期	56.61	54.94

(注) 1. 2019年2月1日付で普通株式1株につき株の割合で株式分割を行っております。

前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

2. 第15期第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年7月期第3四半期	2,846	685	24.1
2019年7月期	2,855	713	25.0

(参考) 自己資本 2020年7月期第3四半期 685百万円 2019年7月期 713百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年7月期		0.00		0.00	0.00
2020年7月期		0.00			
2020年7月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年7月期3Q	1,254,960 株	2019年7月期	1,243,800 株
期末自己株式数	2020年7月期3Q	13,593 株	2019年7月期	13,539 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年7月期3Q	1,240,725 株	2019年7月期3Q	1,226,244 株

(注) 2019年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。このため、期末発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表当時において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の不確定要素により、実際の業績と異なる場合がありますので、ご了承ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(追加情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## (1) 財政状態及び経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間における経営環境は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大により世界経済が急激に減速しており、IMFが4月に発表した予測によると2020年のGDP成長率は世界で-3.0%、日本で-5.2%となっております。

クルーズ旅行市場においても、2月初旬にダイヤモンド・プリンセス号の船内にて集団感染が発生したことを皮切りに東アジアにおけるクルーズの運航中止が相次ぎ、また、3月以降は感染拡大の中心地が欧米に移ったことにより、現在、世界中のほぼ全てのクルーズが欠航となっている状況です。

このような状況のもと、元々少人数で店舗を持たず固定費が少ない非常時に強い体制を構築しておりますが、広告宣伝費の大幅な削減、社員のインセンティブや残業代の大幅な削減、代表取締役社長の役員報酬30%減額（3-5月の3カ月間）等、大幅なコスト削減を行うことで、より厳しい外部環境が続いても耐えられる体制、組織を構築してまいりました。

船会社側も各社これまで以上に厳密に感染症対策を講じることを発表しており、運転再開に向けてより安全に安心してご利用いただける様に動いている状況です。

また、5月25日の全国的な緊急事態宣言解除を受け、目下、2021年4月に運行予定のクエンタム・オブ・ザ・シーズ号（東京発着）や夏休みシーズンに多数運航予定のコスタ・メディタラニア号などを中心にご予約状況が少しずつ改善してきております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,103,127千円（前年同期比27.5%減）、営業損失は△25,198千円（前年同四半期は104,105千円の営業利益）、経常損失は△24,988千円（前年同四半期は102,709千円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は△29,663千円（前年同四半期は69,421千円の四半期純利益）となりました。

なお、当社グループは、全セグメントの売上高の合計額、営業損益の合計額に占める「旅行業」の割合がいずれも90%を超えるため、セグメント情報の記載を省略しております

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べて8,534千円減少し、2,846,762千円となりました。これは主に、現金及び預金が94,726千円増加した一方、旅行前払金が60,256千円、未収入金が62,280千円減少したことによります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べて19,493千円増加し、2,161,408千円となりました。これは主に、長期借入金が248,344千円増加した一方、旅行前受金が158,314千円、未払金が25,895千円、未払法人税等が32,541千円減少したことによります。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は前連結会計年度末に比べて28,028千円減少し、685,354千円となりました。これは主に、資本金が5,646千円、資本準備金が5,646千円増加した一方、繰越利益剰余金が29,663千円、有価証券評価差額金が9,404千円減少したことによります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年7月期（通期）の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の終息の目処が立たない中、現時点において業績予想を数値で示すことが引き続き困難な状況となっております。合理的な予測が可能となった時点で速やかに公表いたします。

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大について)

2020年1月頃より顕在化した新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、同年3月9日より各国からの入国が制限されております。また、日本国内においても同年4月7日に緊急事態宣言が発令され、現在は解除されている状況にありますが、自粛継続による旅行控えや新型コロナウイルス感染症の第二波到来による緊急事態宣言の再発令に伴う旅行者数の急激な減少等が継続した場合、当社グループの財政状態及び経営成績等に影響を及ぼす可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,755,191	1,849,917
旅行前払金	573,307	513,050
未収入金	110,318	48,038
その他	8,965	10,472
流動資産合計	2,447,783	2,421,479
固定資産		
有形固定資産	153,517	151,183
無形固定資産		
のれん	34,181	32,443
その他	30,562	45,533
無形固定資産合計	64,744	77,976
投資その他の資産	186,674	194,704
固定資産合計	404,935	423,864
繰延資産	2,578	1,418
資産合計	2,855,297	2,846,762
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	279,876	273,295
未払金	31,083	5,188
未払法人税等	33,231	689
賞与引当金	—	2,175
旅行前受金	805,487	647,172
その他	26,457	15,723
流動負債合計	1,176,136	944,244
固定負債		
長期借入金	957,138	1,205,482
その他	8,639	11,680
固定負債合計	965,778	1,217,163
負債合計	2,141,914	2,161,408
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	286,836	292,483
資本剰余金	203,336	208,983
利益剰余金	258,037	228,374
自己株式	△34,573	△34,827
株主資本合計	713,637	695,013
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△254	△9,659
その他の包括利益累計額合計	△254	△9,659
純資産合計	713,382	685,354
負債純資産合計	2,855,297	2,846,762

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年8月1日 至2019年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年8月1日 至2020年4月30日)
売上高	1,522,120	1,103,127
売上原価	1,199,971	870,440
売上総利益	322,148	232,686
販売費及び一般管理費	218,043	257,885
営業利益又は営業損失(△)	104,105	△25,198
営業外収益		
受取利息	171	2,475
受取配当金	507	0
為替差益	843	—
受取補償金	—	2,201
その他	2,053	2,516
営業外収益合計	3,576	7,194
営業外費用		
支払利息	3,812	5,257
為替差損	—	567
株式交付費償却	1,160	1,160
営業外費用合計	4,972	6,985
経常利益又は経常損失(△)	102,709	△24,988
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	102,709	△24,988
法人税等	33,288	4,674
四半期純利益又は四半期純損失(△)	69,421	△29,663
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	69,421	△29,663

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2019年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年4月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	69,421	△29,663
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△637	△9,404
その他の包括利益合計	△637	△9,404
四半期包括利益	68,783	△39,068
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	68,783	△39,068
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年8月1日 至 2019年4月30日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

当社は、2019年3月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式6,500株の取得を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が19,076千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が34,573千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年8月1日 至 2020年4月30日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年4月30日)
税金費用の計算	税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 なお、見積実効税率を合理的に見積もれない場合、税金計算については年度決算と同様の方法により計算し、繰延税金資産及び繰延税金負債については回収可能性等を検討した上で四半期連結貸借対照表に計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年8月1日 至 2019年4月30日)

当グループは、全セグメントの売上高の合計額、営業損益の合計額に占める「旅行業」の割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年8月1日 至 2020年4月30日)

当グループは、全セグメントの売上高の合計額、営業損益の合計額に占める「旅行業」の割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

(追加情報)

新型コロナウイルスの感染拡大の影響について、今後の広がり方や収束時期等についての統一的な見解は発表されておられません。

当社は、SARS等の感染症流行の事例を踏まえ、このような状況が2020年度中を通じて継続することを想定しております。また、国連世界観光機関等が実施する旅行需要の回復時期に関する調査を参考に、当社は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響については遅くとも2021年度中には解消され、当社グループの取扱高も過年度の水準まで回復することを見込んでおります。

また、新型コロナウイルス感染症の流行拡大が、当社グループの業績に与える影響が不透明な状況にあることから、当面の期間の将来減算一時差異等に係る繰延税金資産については、将来の税金負担額を軽減する効果を有さなくなると判断し、当第3四半期連結累計期間において繰延税金資産の一部を取り崩し、法人税等調整額2,193千円及びその他有価証券評価差額金2,957千円を計上しております。なお、法人税等調整額は、四半期連結損益計算書の法人税等に含めております。

なお、将来における実績値に基づく結果は、これらの見込み及び仮定とは異なる可能性があります。